

# [コリダール] Corridart

[コリダール]

横須賀美術館ニュース「Corridart」vol.25  
発行：横須賀美術館 〒239-0813 横須賀市鴨居4-1  
Tel.046-845-1211 Fax.046-845-1215  
URL(PC) <https://www.yokosuka-moa.jp/>  
URL(Mobile) <http://mobile.yokosuka-moa.jp/>

横須賀美術館ニュース  
NEWS FROM YOKOSUKA MUSEUM OF ART

# 25

2020.1  
volume.

「Corridart」(コリダール)とは、corridor(回廊)とart(美術)の二つのフランス語を合わせた造語です。横須賀美術館地階の回廊型のギャラリーにちなんで名づけられました。

【特集】

## 長沢明展 オワリノナイフーケイ

【展覧会情報】

令和元年度第4期所蔵品展

特集:土屋仁応

インタビュー 土屋仁応

【お知らせ】

谷内六郎館内での  
写真撮影が可能となりました

【この1点】

## 三上誠 《作品》

編集：横須賀美術館 / 令和2年1月発行  
デザイン：tegsu Inc.  
印刷：株式会社ライブアートボックス  
\*このニュースは8,000部作成し、  
1枚あたりの印刷費は約49.4円です

横須賀美術館の情報は  
公式WriterやFacebookでも  
ご覧いただけます。



長沢明 (Motohiro Nagasaki) 2019年 公益財団法人 聖仙洞蔵

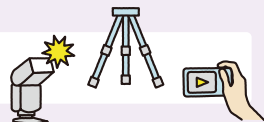
## お知らせ 谷内六郎館内での 写真撮影が可能となりました



これまで谷内六郎館では、入口のフォトスポット以外での写真撮影ができませんでしたが、みなさまからのご要望を受け、展示室内でも撮影が可能となりました。お気に入りの谷内作品に出会えた方は、写真に収めて来館、鑑賞の思い出としてお楽しみください。

写真撮影に  
あたって

- フラッシュ、ストロボ、自撮り棒、三脚等の機材の使用はご遠慮ください。
- 動画での撮影はご遠慮ください。



※詳細、ご不明な点がございましたら、美術館スタッフにお尋ねください。

この  
1点

## 三上誠《作品》

昭和32(1957)年 麻布着色 121.1×165.8cm



沼地を連想させるような画面下部から、突き出てきたような不思議な私たちのモチーフたち。モチーフ同士は互いに引付けあい大きな塊となっているかのようで、多面的な構成を見せています。そこに幾重にも引かれた白や茶の線が、画面に独特のリズムを与えています。

作者は日本画家の三上誠(1919-1972)。京都で本格的に日本画を学びますが、戦後、新しく生まれ変わる社会のなかで、依然として伝統に縛られ続けている日本画に危機感を抱くようになります。そして、「日本画の改革」を掲げ「バリエーション美術協会」を仲間と結成し、同会で作品を発表していきます。

「日本画」と聞くと、華やかな花鳥画、幽玄な山水画を思い浮かべる方も少なくないと思いますが、まず、三上は「日本画といえど」といった決まりきった画題からの決別を図ります。では「何を描くのか?」となったとき、三上は、苦悩や喜びといった「人間が持つ生々しさ(リアリティ)」を描く事こそが、人々の共感と呼び感動を生むと考え制作を行っています。しかし、そのなかで三上は肺結核による4度の手術で肋骨11本を失うという悲運に見舞われます。奇しくも、自身が考えるリアリティを大病と引き換えに手に入れるかたちとなった三上は、復帰以降、病床や手術で感じた「恐怖」や「苦しみ」、また「生きること」や「健康」へ渴望を画面に託していきます。

本作は、三上の手術復帰後の作品です。この作品に関して三上は解説や絵解きにつながるような言葉は残してはいません。しかし、画面からは、伝統に真っ向から挑戦し「新しい日本画」の確立を目指した情熱とともに、小康の裏に常に潜む不安と恐怖のなかで制作する三上の心情をうかがうことができるのではないのでしょうか。(RK)

横須賀美術館の所蔵作品の中から、毎回1点を選んで学ぶ会員がくわしく紹介する「1点」です。

アーティスト  
インタビュー

# 長沢明展

— オワリノナイフーケイ —

ユニークで自由な発想で、様々な画材や技法を用いて、独自の表現を追求し続ける長沢明さん。2020年2月からは、一時期住んでいた横須賀の地で、初の大規模個展を開催します。

今回は、展覧会開催を間近にひかえる長沢さんに、代表的モチーフである「トラ」や新作についてなど、5つの質問をぶつけてみました。

## Q1

### 思い出の場所

1998年から2008年の間に横須賀に住んでいらっしやいましたが、思い出や好きな場所を教えてください。

長井漁港から荒崎公園まで、この海沿いを散歩するのが日課だった。ほどよい漁村という感じで、小さな入江がたくさんあって飽きないし、途中の長井水産でイカ飯を買って食べ歩くのが病みつきになった。その先は海が一望できる熊野神社があり、初詣は毎年参拝しに行っていた。



## Q2

### サブタイトルについて

この展覧会のサブタイトル「オワリノナイフーケイ」について

展覧会や作品をつくるのは、風景を創り上げている感覚と似ているところから。今回の展示構成はメメントの森、折りの風景、始まりの風景(生命の風景)、忘れていた風景、そんなイメージ。

自身の作品を改めてふりかえてみると、テーマが生命なのか、光なのか、折りだったのか、先天的なものなのかとあれこれ考えても、なにかしっくりこなかった。ずっとこの問答を繰り返してきた末、これらに「フーケイ」を付けることで視野が広がり、腑に落ちたという感じ。大きな大作をつくり続けてきた理由も、身体が包み込まれるスケールを求めてきたことも分かった気がした。

初めて見る風景に出会ったとき、強烈な懐かしさを感じることもある。忘れていたものを思い起こさせられるようなとかしい感覚だ。ものをつくるときには、その感覚が何であるのか呑み込めるように思うのだが、言葉にしようとするほどにモヤモヤだけが残り、どうしても説明がつかない。むしろ、何も云わないほうが潔いとさえ思う。そうしてつくってきた作品で、一つの風景を創る。遠い昔や未来の誰かが、変わらぬ同じ風景を眺めながら、もどかしがっている。例えるなら、そんな風景だ。

## Q3

### 本が題材の作品について

平面作品以外にも、「本」そのものを土で封じこめる「土本」シリーズや、本を粉砕し再構築する「BOOK」シリーズを発表しています。本をモチーフとした作品を発表するきっかけはなんですか？

当時はPCが普及し始め、ネット社会へ目まぐるしく変化していく背景があった。その中で古書たちが遺構と重なって見えたのがキッカケ。本という形式、この人類の最もシンプルな発明がとても愛おしく思えたから。特に外見はモニュメントのような佇まいがあり、中身の内容とは無関係にそれ自身が完璧な形をしていたので、物としての本の存在価値を示したかった。効率化が進み、情報だけ抜き取れば良いのならば、物としての本は失くなる。そしたらズシリとした厚み、ページをめくるときの感覚や本に挟まっていた虫と出会うこともない。そんな世界は面白くないでしょ。



(BOOKSTONE)1999年、平橋敏郎蔵



(ブルーバード)2013年、作家蔵

## Q4

### トラの意味

作品にトラが形を変えて何度も現れますが、どういう意味が込められていますか？

最初の頃、トラはこの時代を生きる人々や自分自身の姿だったと思う。だから虎らしさは求めていない。トラ(四つ足の獣)の姿を借りることで滑稽味が増し、ユーモラスに描けると。また、かつて日本の巨匠たちが想像上で虎を描いていたことや、魔除けや権威を表すものとして扱っていたから、同じノリで創作したいという欲求が募り、その現代バージョンを描いてきた。そのうちにトラの役割は器や場所そのものとしてとらえ考えるようになっていった。マウンテンやマザーがそれ。



(Mountain II)2007年、個人蔵

## Q5

### 「メメントの森」について

新作の「メメントの森」について作品とタイトルの関係を教えてください。

メメントモリからきている。動植物も人間も渾然一体となり、あらゆるモノの視点が交差する森。涅槃図でもユートピアでもない。何がどう出てくるのかは、現時点でもわからないけれど、現実に関わってきた風景を絵の中でつなぎ合わせながら描いていくと、何かが起こるんじゃないかと。考え過ぎず、絵にし過ぎないことが前提。そのためには短期間で一気に描く必要があると感じている。



(メメントの森)2019年、作家蔵



(トララララ…)2008年、塚越雅彦蔵

### 展覧会 情報

## 長沢明展 オワリノナイフーケイ

2020年2月8日(土)～4月12日(日)

開館時間 | 10時～18時 無料観覧日 | 2月16日(日)  
休館日 | 3月2日(月)、4月6日(月)  
観覧料 | 一般900(720)、高大生・65歳以上700(560)円、中学生以下無料  
主催 | 横須賀美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会  
協賛 | ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜、日本テレビ放送網  
協力 | ガレリア・グラフィカ  
制作協力 | フォーティス、三省堂印刷  
巡回 | 新潟市美術館 4月25日(土)～6月7日(日)

※( )内は20名以上の団体料金および前売料金(前売りは2月7日まで)  
※前売券は美術館受付、横須賀芸術劇場チケットセンター(横須賀芸術劇場1階、横須賀中央駅モアーズシティ1階)でお求めになれます  
※高校生(市内在住に学に限る)は無料  
※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と付添の方1名様は無料

託児サービス | 展覧会ご観覧の方を対象に、2月11日(火)と3月6日(金)の13:30～16:00、および1、2の関連イベント開催時に託児サービスを実施します(定員・対象年齢あり)。事前申し込み制です。詳細は美術館HPをご覧ください。

### 関連イベント ※詳細は当館HPをご覧ください。

#### 1 アーティスト・トーク

日時 | 2020年2月29日(土) 14時～ 場所 | ワークショップ室、展示室  
対象 | どなたでも 定員 | 70人

参加方法 | 当日、直接会場(ワークショップ室)へ。ただし企画展観覧券が必要です。

#### 2 ワークショップ「金箔銀箔でキラキラカラーージュをつくらう！」

日時 | 2020年3月15日(日) 14時～16時 場所 | ワークショップ室  
講師 | 長沢明(出品作家) 対象 | 5歳から小学生(保護者同伴) 定員 | 20名  
参加費 | 1人1,000円(別途、企画展観覧券が必要です)

事前申込制。参加希望の方は、参加人数、代表者の郵便番号・住所・電話番号、参加者全員の名前・年齢を明記の上、ハガキかEメール(art-event@city.yokosuka.kanagawa.jp)で係までお申し込みください(メールの場合は標題に明記)。3月1日(木)必着。

#### 学芸員によるギャラリートーク

日時 | 2020年3月20日(金・祝) 14時～ 場所 | 企画展示室  
対象 | どなたでも

参加方法 | 申込不要。当日直接会場へ。ただし企画展観覧券が必要です。



フーイング



(アエソプ)2018年、公益財団法人 麗仙洞蔵

# 土屋 仁 応

令和元年度第4期所蔵品展にてご紹介する彫刻家・土屋仁応さんに、制作の背景やご自身の作品の魅力、そして横須賀出身ならではのエピソードをうかがいました。

Sacred Eyes



PROFILE

プロフィール

- ・1977年生まれ。幼少年期を横須賀で過ごす。
- ・神奈川県立追浜高等学校卒業。
- ・東京藝術大学美術学部彫刻科卒業。
- ・同大学大学院美術研究科文化財保存学専攻保存修復彫刻研究分野修士課程・博士課程修了。
- ・2007年以降、個展・グループ展多数。
- ・2018年第9回円空賞受賞。

—— 土屋さんは、動物をモチーフとした木彫作品で知られていますが、一方、SNSには、きれいなお花の写真をたびたび投稿されていますね。

6年くらいになるんですけど、引越してようやく庭ができたので、いろいろ育てています。今ハマっているのはバラで、100種類以上あります。バラ生産会社によってそれぞれ雰囲気の違い、お国柄みたいなものも出るんで、それが面白くて。

—— 植物にはもともと興味がありましたか？

幼い頃から生き物全般に興味がありました。子どものときは身近な金魚とかメダカとか カプトムシとかが好きでした。横須賀中央に、熱帯魚屋さんで「中央水族館」というお店がありますよね(図1)。小学生のときは、家から電車で行くところに行っていました。お小遣い握りしめて。水槽を眺めながら何時間も想像の世界を膨らまして。魚を飼うだけでなく、水草をきれいにレイアウトして大自然を小さくしたような水槽に憧れていました。花も好きでしたね。じつは中学生のときは、ランにハマってました。横須賀のデパート、さいか屋ですか、あそこでラン展を見て、すごくきれいだなと思って。中学生のとき、お年玉でランを買いました。うまく育てられませんでした。



—— 中学生でラン、というのは驚きですね。では、動物ではなく植物を作品化するアイデアもあったのでしょうか。

植物モチーフの作品も、ときどきつくっています。改良品種というか、人間がかけあわせて選抜したような生き物に興味があります。ありのままの自然というより、ヒレが長い魚とか自然界にはないような鮮やかな魚とか、そういうものに心惹かれる。人間はなんで、これをきれいなと思うのかな、とか。人間がつくり出した園芸植物とか観賞魚とか、人間がモデルなわけではないですけど「人間」が一番出ているんじゃないかと思えます。バラはその極みという感じがします。

—— 架空の動物をテーマにすることが多いのも、関係があるかもしれませんね。

作品は最初、羊と鹿で、蹄がある草食動物に自分なりにシンパシー

を感じてスタートしたんですけど、麒麟をつくりたいと思っていろいろ資料にあたってもしっくりこなくて、もともとつくっていた鹿をベースに、今の自分の麒麟の姿が頭に浮かんできたのだと思います。それは、金魚で和金から琉金ができるみたいな感じというか、一重咲きのバラから八重咲きのバラが生まれるみたいな感じというか。

—— そういわれてみると、そうですね。

もちろん、それぞれの動物が持っているお話みたいなものに対して、思い入れはあるんですよ。丑年生まれだと働き者だとか、猫は自由気ままとか、そういう、なにかのシンボルとしての動物というイメージは、古い好きな母の話とか、いろいろな物語の影響で興味がありました。人の抽象概念が動物の形で表されている、それを形にするということが、作品のルーツにあります。

—— いつごろから、そういった作品を手がけるようになったのでしょうか。

大学で木彫を選択しましたが、人物のモデルさんをつくるのは当時はどうしても興味を持ってなくて、人物ではないけれど、やっぱり手足があって顔があって、何かしらのポーズによって表現できるもの。それで木彫課題で最初につくったのが亀でした(図2)。亀は小さい頃から飼ってたんですけど、写実的につくるというより、家をしょって歩いているイメージ。ちょうど一人暮らしを始めた頃で、一人で自立して暮らせるということに憧れがあって、それができている、というところが大学の深井隆先生に話したら、面白いと捉えてくれた。



—— そこからいろいろな動物に展開していったわけですか。

動物が持つそれぞれのイメージをもとに動物をつくるというのが面白いといってもらえたので、そこから恐竜とか蟹とかをつくりました。最初は、写実的につくりたくないと思えるんじゃないかと思いがあつたんですけど、先生から、お前はもっと自分の中の形を追求したほうがいいというアドバイスがあって、それで卒業制作では、鹿と羊をつくりました。羊は、牡羊座の羊のイメージ、高い山をぐんぐん

登っていく、頭を振りかざして突進していく、そういうイメージを形にしようと思ってつくりましたね(図3)。

—— それでバリエーションが増えていったわけですね。

バリエーションを増やして自分の世界みたいなものを広げたいという気持ちもあるし、ときどき、反動で違うこともしたいという気持ちもあって、その間で揺れ動いている感じですね。例えば、植物が一生懸命、栄養を貯めて花を咲かせますよね。それをなんとなく、自分が制作を続けることに重ねているところがあります。植物の株が自分で、花が作品みたいな感じ。植物は、すごくいい花が咲くときもあれば、虫にかじられたり、肥料過多で歪んだりしますが、めげずに次つぎと咲かせるので、それを見ていると、一回で終わりじゃなくて、ずっと続けているということに、ほっとするんですね。

—— 確かに土屋さんの作品には、初期から一貫している土屋さんらしさみたいなものを感じます。ご自分の作品で特に大切にされていることはありますか？

なにかとなにかの間みたいな感じ、ですかね。顔も、いろんなふうに変えられる表情を探っています。動物って、なにを考えてのかわからないようなところがあって、例えば亀って、知恵の象徴というか、すごく含蓄ありそうな顔をしていて、笑っているようにも見えるし、冷たい表情にも見える。そういうものを作品にしたいと思えます。それと、文学的というのかな、具体的ではないけれども、なにかのストーリーがあって、それが垣間見えているような作品。物語を秘めているような作品ですね。そういう作品が、自然に出てきたみたいな感じでしたらいいなって思っています。

—— とても興味深いお話ですね。どうもありがとうございました。

(聞き手・文責：横須賀美術館 / 2019年10月25日、メグミオギタギャラリーにて)

図1：少年時代に通った「中央水族館」(横須賀市若松町3-20-18 tel.046-822-2626)  
図2：大学の木彫課題で制作した亀 / 図3：大学の卒業制作として制作した羊

## 展覧会情報 Exhibition information

会 期	2019年12月21日(土)～2020年4月5日(日)
無料観覧日	2020年2月16日(日)
開館時間	10:00～18:00
休 館 日	2019年12月29日(日)～2020年1月3日(金)、 1月6日(月)、2月3日(月)、2月4日(火)、3月2日(月)
観 覧 料	一般 310(250)円、 高次生・65歳以上 210(160)円、 中学生以下無料
	※4月1日以降、一般380(300)円、高次生・65歳以上280(220)円 ※( )の中は20名以上の団体料金 ※高校生(市内在住在学に限る)は無料 ※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と 付添1名様は無料

